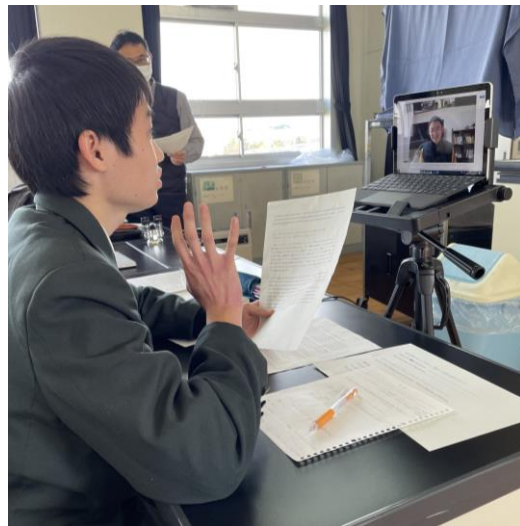


大垣ユネスコ協会主催 グローバルイシューワークショップ (GIW) に参加

- 日時：令和3年12月11日(土)
- 目的：高校生が地球規模での諸問題に関心を高めるとともに、高校生らしい新鮮な視点からその解決を創出する機会を設け、思考力、判断力、表現力を高め、将来グローバルイシューに取り組む人材を育てる一助とする。
- 場所：オンライン開催
- 参加者：西濃地区の高等学校（大垣北高校・池田高校・大垣養老高校・清陵高校・本校）

ワークショップの様子

持続可能な開発目標 (SDGs) をテーマに英語でディスカッションを行った。



〈ディスカッションの意見から〉

今、一生懸命に学んで、将来大きな問題を解決できる力を付けていこう。

グローバルイシューを解決するために、ローカルイシューに関心をもち、行動を起こそう。

〈生徒の感想〉

- ・GIWに参加するにあたり、事前資料をもとにSDGsや国際的な諸問題について真剣に考えることができた。世界の現状を調べていく中で、世界には大きな問題が山積していることを改めて認識したと同時に、地球の未来を憂い、行動を起こしている若い世代の人がたくさんいることも知った。
- ・GIWに向けて、先生やクラスの間と何度も意見交流する中で、視野が広がり、自分一人では考えつかない意見を生み出すことができた。特に、諸問題を解決するためには、自分たちが当たり前のように受けている「教育」を地球上のすべての人に保障することが重要であることにも気付いた。
- ・本番では、自分の考えを分かりやすく伝える工夫をして話すことができた。英語の質問に英語で答えることは難しかったが、とても貴重な経験ができ、勉強になった。